アイリックコーポレーション

保険商品提案システム「AS―BOX」

hokanとAPI連携開始

アイリックコーポレーションは5月25日、同社が開発する保険商品提案システム「AS―BOX」と、㈱hokanが提供する保険代理店向け顧客・契約管理クラウドサービス「hokan®」が5月にAPI連携を開始したと発表した。

多くの保険代理店では顧客提案用のシステムと顧客管理用のシステムが別に存在しているため、それぞれにログインが必要なだけではなく、同じ顧客情報を登録し、参照するという二度手間が発生することから、事務効率が悪く本来の顧客対応に時間を割けない状況だった。これらを改善し、乗合保険代理店を健全に発展させていきたいという両社共通の思いにより、2022年春に提携を発表し、今回hokanとのAPI連携を開始した。

「AS―BOX」は銀行や保険ショップなど乗合保険代理店向けに、顧客への保険商品の一括検索比較提案ができる業界唯一のツールとして、アイリックコーポレーションが独自開発し提供しているシステム。同システムを活用することにより、保険販売担当者はパソコン上で簡単に保険商品の比較等を行うことができ、さらにどの保険会社でも商品別共通フォーマットの「共通提案書」を渡せるため、顧客に分かりやすい提案を行える。利用料は1ID初期登録料3万3000円、月額利用料1万8000円～（税抜き、定価）。

hokan®とAPIで連携することで、両社のシステムの機能を一度の認証情報の入力で利用できるようになり、顧客情報を登録するだけで両システムに自動的に連携される。AS―BOXの特徴である複数の保険会社の一括検索や見積書、比較表の作成といった機能と、hokan®の見込み顧客、保全の顧客・契約管理機能に活用できる。これにより、面談から比較提案、成約、保全までスムーズな顧客管理が実現可能となる。

企業ごとにすでに導入済みの自社システムと「AS―BOX」を連携することで、各企業の保険販売フローに合わせた形を実現。かつ事務効率化にもつながり、よりコンサルティングに時間を費やすことが可能となる。また、事務作業の時間短縮による働き方改革への貢献も期待できるという。

アイリックコーポレーションとhokanは今後も段階的に連携を強化し、保険代理店の業務効率化を目指し、顧客本位の業務運営に貢献するとしている。